

平成 27 年度第 3 回忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事録

開催日時 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 14:00~15:40

開催場所 忠岡町シビックセンター本館 3 階 研修室 1・2

出席者 【委員】

大阪府立大学客員研究員 博士	井上 馨 (会長)
忠岡町自治会連合会 会長	高見 晃市
忠岡町防犯委員会 会長	花野 淳一 (副会長)
(社福) 忠岡町社会福祉協議会 会長	上ノ山幸子
忠岡町老人クラブ連合会 会長	田部 通夫
忠岡町子ども・子育て会議 会長	藤田 四郎 (交代)
忠岡町 P T A 協議会 東忠岡小 P T A 副会長	森 佳子
忠岡町国際交流オーストラリア ・ピットウォーター市派遣者 代表	白石 大樹
忠岡町商工会 会長	萬野 俊史
忠岡町農業委員会 会長	前川幸一郎
いずみの農業協同組合 営農経済部長	信貴 正憲
忠岡漁業組合 組合長	勝元伊一郎
ベル食品工業(株) 代表取締役	植田 末廣
忠岡町労働者協議会 議長	藤田 茂
(株)りそな銀行泉大津支店 支店長	斉脇幸史朗
(株)テレビ岸和田 取締役技術本部長	嶋崎 宏和
(欠席委員)	
忠岡町小売商連合会 会長	上田 協春

【忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部】

和田町長 (本部長)、富本教育長 (副本部長)、原田町長公室長 (副本部長)、
柏原町長公室次長、前田住民部長、萬野健康福祉部長、
藤田産業まちづくり部長、小林産業振興課長、谷野建設課長、
長屋教育部長、土居教育部理事、森野消防長

【事務局】 秘書政策課 奥村課長、石栗係長

配布資料

- ・会議次第
- ・忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員名簿

【会議資料】

- ・資料 1 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (素案)
- ・資料 2 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (骨子素案)

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 町長挨拶

4. 「忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)について

- ・事務局：資料1、2の説明

- ・会長：ご意見、ご質問をお願いします。
- ・委員：前回の推進会議において、町の若手職員による専門部会を開催し、提案をもらうとの説明があったが、専門部会からの提案はありましたか。
- ・事務局：前回の推進会議終了後に、各部署の若手28名で構成する専門部会を開催し、一人ずつ提案を出して頂いた。事務局や本部会議で検証し、3世代ファミリー一定住支援制度、3世代家族推進事業などの提案について、「子育て世帯・3世代同居世帯住宅リフォームの助成」の施策に反映した。
- ・会長：若手からの提案を反映しているということですね。他にご意見ありませんか。
- ・委員：素案P15「②-2：英語教育の充実」が実現すれば、親にとって魅力あるまちになると思いますが、この中で「英語体験セミナー」とありますが、具体的にはどのような内容をお考えですか。
- ・教育部理事：英語を話す外国人等による英語の説明を聞いて、工作をしたり、ポスターをつくったり、ゲームをしたりという取組みで、英語に楽しく親しんでもらうことが狙いです。
- ・委員：対象となる子どもの学年は？
- ・教育部理事：町立保育所、町立幼稚園の5歳児、及び町立小中学校の全学年を対象とします。
- ・委員：しっかりと、よろしくをお願いします。
- ・会長：しっかりとお願いしたいということですので、是非お願いします。
- ・委員：素案P18「②-2：防犯対策の充実」について質問します。各地区の防犯カメラの整備については、犯罪抑止に非常に効果があると考えておられて、補助を継続していただけるのは非常にありがたいです。防犯委員会では、パトロールや啓発等を行い、防犯対策に努めていますが、今回書かれている「防犯パトロールの強化」については、新たな事業として考えているのですか。
また、忠岡町は紀州街道に面しており、情緒がありますので、町の魅力づくりとして、イベント時に街道沿いの家々や自治会の協力を得て、灯籠や行燈のような灯りをつけてはどうでしょうか。ペットボトルの活用でも良いと思います。馬瀬の街道も古い家並みがあるので、こうした街道沿いの方にご協力いただき、心が和むまちづくりをしていくことが大事ではないかと思いますが、いかがでしょうか。
- ・町長公室長：本町の実施する防犯対策は、防犯委員会の協力で成立しているところが多々あり、中でも啓発とパトロールが重要と考えています。パトロールについては、今回、各地区における街角の防犯体制の確立に向け、新たに施策を考えて参りたいです。
次に、紀州街道沿い、馬瀬街道沿いに灯りをもとめて魅力あるまちづくりを進めては如何かと

いうお話をいただきました。非常にありがたく、何らかの形で助成等についても考えて参りたいです。

- ・会長：街道沿いのまちづくりへの意見については、助成に向け考えて頂きたいということですね。
- ・委員：まとまった素案ができたと思うが、印象としては総花的なところがあります。基本的には、国の予算編成など財源の問題が大きいと思っています。子育て世帯についての3世代同居世帯住宅リフォームの助成など税金を使う事業については、将来的に人が増えれば財源の手当てが必要になると思います。商工会としては、産業振興課と綿密に打合せて、産業の振興に資するようなことをしたいと思っています。地元企業にこだわりすぎず、企業誘致についても真剣に考え、外から来て元気な企業を起してもらような抜本的な施策や、お金の稼げる施策を考えていただきたいです。そこで、提案ですが、産業振興課と商工会が綿密に連携し、役場の人、特に若手の職員にも来ていただき、月に1回程度、真剣に話し合う場を持ちたいと思っています。
- ・産業振興課長：企業誘致は、町の小さな面積では難しいところがあります。企業誘致まではいきませんが、平成27年度から国認定の創業支援を商工会の力を借りながら実施しています。まずは創業支援を実施し、機会があれば、企業誘致についても町全体で考えて参りたいです。ご提案の連携会議については、若い職員も増えているので、産業振興課だけでなく、希望者を募って、商工会の新しい社屋の研修室を有効活用させていただきながら、実施して参りたいと考えております。
- ・会長：委員からもっともな危惧を承りました。抜本的な施策については、埋立てなしには難しいという課題もあります。状況も変わっていくと思いますので、今後、タイミングをみながら、検討していただければと思います。産業振興課の若手職員と商工会の密接な連携についての提案があり、希望者を募るといった回答でした。自治体職員は職場を異動していくので、幅の広い連携の場ができるのは良いことだと思います。
- ・委員：P14「①-3：妊娠・出産・子育てに対する支援」の主な施策で「忠岡あすなろ塾事業」とはどのような事業ですか。
- ・教育部理事：新規事業でありまして、学校休業日の土曜日に、基礎学力の定着を図るために、希望する小学校の子どもたちに学べる場を提供する事業であります。学習塾の先生に教えてもらうことを考えています。
- ・委員：年間にどれくらいの人数を対象としますか。
- ・教育部理事：対象としては、小学校4～6年の児童を想定しています。現時点では人数までは考えていません。
- ・委員：P15「③-1：子育て関連施設の充実」の主な施策「遊び場所・集いの場の整備」とはどういう事業ですか。遊具も増やしてもらえるのですか。
- ・産業まちづくり部長：既存の開発公園や児童遊園については、老朽化の著しい遊具が増えており、これらの修繕、更新を順次行い、保全に努めるものであります。また、お母さんたちの交流の場「集いの広場」としても重要な位置づけであり、ベンチなどの修繕や更新を進めて参りたいと考えております。今のところ22ヶ所の広場などを想定しています。
- ・委員：修繕してもらえるのはわかりましたが、伸び伸びと遊べるように小さい子の遊具は増やしてもらえるのですか。
- ・産業まちづくり部長：検討して参りたいです。

- ・委員：忠岡町の指定金融機関を代表して参加していますが、総合戦略において金融機関として何ができるかを述べさせていただきたい。まずは、産業振興の中での資金支援の部分でお役に立てるのではないかと。それ以外でも、就業、創業、お客様の教育などの部分でも何かとお手伝いできると考えています。具体的な施策を実施するときは、是非お声をかけていただきたい。
- ・会長：非常に心強いお話でありますので、よろしく願います。
- ・委員：素案P14「①-3：妊娠・出産・子育てに対する支援」で、就学前保護者20%、小学生保護者13%のKPIを掲げていますが、どのような方法で把握するのでしょうか。
- ・教育部長：今年3月策定の「忠岡町子ども・子育て応援プラン2015」を策定するにあたり、ニーズ調査を行った。その結果、満足度が「高い」「やや高い」を含めた回答は、就学前保護者では17.6%、小学生保護者では10.9%であった。平成31年が計画の改定時期であり、それにあわせ達成度を確認して参りたいと考えております。
- ・委員：また、P13の基本目標1、P17の基本目標2の指標として、子育てがしやすいと感じる子育て世代の割合、住みやすいと感じる子育て世代の割合とありますが、これはどのようにして把握するのでしょうか。
- ・健康福祉部長：本町で実施している妊婦健診、乳児健診、子育て教室等に参加された住民を対象にアンケート調査を実施していますので、これらを活用し把握して参りたいと考えております。
- ・委員：P19の自治会活動について、自治会加入率80%を目標にしているが、11地区全体の加入率は把握していますか。
- ・町長公室長：11地区の平均加入率は76%となっています。住民票の世帯での加入率でありまして、加入率は地区ごとにばらつきがありますので、平均を目標値としています。現状と目標が4%しか差がありませんが、加入率を上昇させるのにはかなり困難があると聞いています。4%上昇を5年間で、ご尽力いただきたいと考えております。
- ・委員：主な施策として、自治会活動への助成とありますが、加入率を上げるための助成ということですか。
- ・町長公室長：本町のまちづくりを進めるうえで、地域がまとまっているのはありがたいことでありまして、それぞれの地域でさまざまな活動をしていただいています。当然活動内容が違ってきます。加入率を上げる取組みにつきましても色々な方法があると思います。これは実施して頂く施策について助成して参りたいと考えております。
- ・委員：加入率を4%上げるのは至難の業です。ワンルームなどのマンションについては、投資目的の転売などオーナーが近辺におらず、管理会社もわからないケースも多いです。助成していただくのを楽しみにして、町の目標を目指したいと思いますので、よろしく願います。
- ・委員：報道、メディアの関係で参加していますが、町の行事や施策につきましても、これまで番組の中で紹介してきました。最近では、津波対策の避難訓練やだんじり祭などを特集しております。町の魅力を発信する媒体として今後も使っていただきければと思います。また、災害についての情報提供に関しても番組を強化して参りたいです。我々の情報網を生かして町の施策に協力して参りたいと考えております。
- ・会長：他にご意見等はないのでしょうか。では、私からの質問ですが、素案P24「②-1：忠岡町の魅力づくり」の主な施策「みなとマーケットの活性化」とは具体的にどのような事業でしょうか。
- ・産業まちづくり部長：みなとマーケットは、平成24年3月から忠岡町漁業協同組合により毎月開催されてきましたが、翌年の5月に拡大開催して以降、客の減少が目立つと聞いています。フリ

マーケットの参加店舗の減少など、第4日曜日が町内の他の事業と重なっていることもあり、広報等でお知らせしていますが、来場者の増員にはつながっていないのが現状です。毎月開催となると日常業務との兼ね合いもありますので、夏休みや大型連休など、年2回程度の開催に切り替え、例えばパラソル付きのバーベキューコーナーの設置、児童によるダンスステージなど、家族で楽しめる内容でボリュームアップする企画について、漁協と協議しているところがあります。

- ・会長：組合長から何か意見がございましたら。
- ・委員：音楽の方も続いています。ロック、フォーク、主にレゲエを毎月行っています。これについてもバックアップや宣伝を行っていきたいです。コンサートをさせてほしいなどの要望も寄せられていますので、がんばっていきたい。
- ・会長：忠岡は海に面しているが、山はあっても海はないという地域もあります。やり方次第では魅力の一つになるかと思えます。他市たとえば茨木市ではまち魅力発信課という魅力を伝えていく課をつくっています。皆さんには、他市から人が集まる企画提案をよろしくお願いします。
- ・委員：地域活性化には、人口増加が大事です。いろいろな施策がありますが、忠岡町だけで人口を増やすのは難しく、時間もかかります。そこでP23にもある「訪れたいまち」ということで、他所の地域から昼間の間だけでも呼び込む施策が大事だと思います。企業誘致も大事ですが、各地にある道の駅には多くの人を訪れ、研修会の会場に使える施設があれば、そこにも人を呼び込めます。「訪れたいまち」をつくるための施策についても、もう少しいろいろ考えていただけたらと思います。
- ・事務局：基本目標4にもあるように、人に集まっていただくこと、みなとマーケットなど人を呼び込むことは重要かと思えます。財政的な部分もあるが、産業振興的なことも含め、総合的に検討して参りたいと考えております。
- ・委員：P6では人材確保について、約70%の企業が確保できていないと回答している。一般のワーカーか技能者かなどの集計はできないのでしょうか。
- ・事務局：今回のアンケートでは、一般的な意味合いで人材の確保について尋ねています。
- ・委員：そのあたりを詳細に把握しないと、何のためのアンケートかわからないのではないのでしょうか。
- ・事務局：今回の意識調査の項目については、若干荒かったかと思えますので、今後は実施する調査では、頂いたご意見を踏まえて詳細に調査して参りたいです。
- ・委員：企業に詳細を出してほしいと言っても出てこないかもしれませんが、一般的ワーカー、技能者、研究者、技術者など、どの分野が多いのか、忠岡町は運送業が多いので、若い運転手がほしい、などといったことがわかれば、ハローワークとも連携し、適切な人材が確保できるのでないでしょうか。
- ・事務局：本町は業種としては運送業、物流関係が多いです。今後、緻密な調査もやっていきたいと思えますので、よろしくお願いします。
- ・会長：本日は貴重な意見をたくさんいただきました。来月の上旬からパブリックコメントを実施することですので、本日の意見を踏まえ、事務局で必要な部分については早急に修正していただきたいと思えます。

5. その他

- ・特になし

6. 閉会

以上